

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるみどりい (放課後等デイサービス)		公表日	令和6年12月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	療育スペースを最大限になるようにしている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	指導員が3人から4人で療育を行っている。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	視覚構造化に心がけている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	目につくところは、物を減らしている。毎日の掃除をマニュアル化している。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0		
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	全職員で共有して、共通理解で取り組んでいる。	
	8	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	月1回のばるみどりの研修会を設けている。法人内で決められた時間で個人で学ぶものがある。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者の方からニーズ確認をその都度行い、個別支援計画に係る会議を職員で行って個別支援計画を作成している。	
	10	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	時間は取れないものの、教室のない時間に保護者の思いなどを伝達している。	
	11	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	保護者の方への支援計画の伝えの後、職員間で情報共有を行っている。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	13	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	本人支援（5領域）と家族支援、移行支援、地域支援が入った支援計画を立てている。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	療育開始前に必ず打ち合わせを行っている。立案の時は職員間でアイデアを出し合っている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	毎日の活動が前回の活動とつながるが、少しずつ違う要素が入るように工夫している。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばるみどりい (放課後等デイサービス)		公表日	令和6年12月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	16	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	少人数の集団での活動の中に個別でおこなう課題も入れながらスケジュールを決めている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	チームで役割分担を決め、事前に細かい打ち合わせを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	終了後、記録に残しながら、職員で話をして共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎回の教室計画の反省の欄に記入し、次回に生かしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	定期的なモニタリングを行っている。	
	21	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	子どもが自己決定するのを大事にしながら、支援の方法を考えている。	
関係機関や保護者との連携	22	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	子どものことをよく知っている職員が参加している。	
	23	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者の方の希望があれば、関係機関と連携するようにしている。	
	24	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0		
	25	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0		
	26	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	子ども部会に参加している。	
	27	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎の時に教室での様子をお伝えし、おうちでは学校での様子も聞き、共通理解を持つようにしている。	
	28	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	careの案内をしたり、保護者集団で話し合いをする場をもうけている。	
保	29	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約の時や、変更があったときに説明している。	
	30	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	支援計画の前にニーズの確認を行っている。	
	31	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	支援計画の内容をお伝えする時間を作り、同意を得ている。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童デイサービスばらみどりい (放課後等デイサービス)		公表日	令和6年12月20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	32	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	その都度相談があるときは、時間を作り相談に乗っている。	
	33	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	責任者がきちんと行っている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報は外に持ち出していない。	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	わかりやすく伝えるように工夫している。	
非常時等の対応	37	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	月1回の訓練を実施している。	
	38	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に行っている。	
	39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	一覧表を作成し、全職員で周知している。	
	40	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	一覧表を作成し、全職員で周知している。	
	41	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全点検は月1回行っている。 怪我がないように環境設定にも注意をは立っている。	
	42	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	怪我や体調不良の急変の場合での対応の流れは契約時に保護者の方に確認している。	
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	報告書を作成している。	
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	定期的に研修会がある。	
	45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		